

研究者と伴走するための ELSI/RRI とその取組

新技術が社会に浸透していくとき、新技術の普及や実装にあたり、倫理的・法的・社会的課題（ELSI）に直面することがあります。また、社会の潮流として、責任ある研究・イノベーション（RRI）という概念への転換も求められています。

本セミナーでは、ELSI/RRI に詳しくない URA や研究者を対象に、ELSI/RRI とその取組に関して、その背景や意義などを確認しつつ、具体的な活動のあり方を紹介します。

RRI

責任ある研究・イノベーション
Responsible Research
and Innovation

ELSI

倫理的・法的・社会的課題
Ethical, Legal
and Social Issues



RA

リサーチ・アドミニストレーター
Research Administrator

日時：2024 年
2 月 16 日（金）
13:00～17:30
情報交換会 18:00～20:00

場所：京都大学 吉田キャンパス
学術研究支援棟
地下 1 階会議室
<https://www.kura.kyoto-u.ac.jp/access/>

対象：ELSI/RRI に興味がある URA/研究者等
ELSI/RRI に関する業務を行っている、
行う予定がある URA/研究者等

募集定員：オンサイト **40名**
オンライン※ **無制限**
※オンライン参加の場合は、第一部までの参加となります。

参加費：

参加方式	オンサイト	オンライン
RA 協議会会員	5,000 円	2,500 円
一般（非会員）	10,000 円	7,500 円

会員・非会員、参加方法により、受講料が異なります。

プログラム：

- 第一部 13:00～15:50 ELSI/RRI とは、ELSI/RRI への URA としての対応方法
- 第二部 16:00～17:30 ラウンドテーブル（講師陣への相談 / 意見交換）

セミナー詳細、お申し込み方法は裏面をご覧ください。

【講師紹介】



水町 衣里, Eri Mizumachi
大阪大学 社会技術共創研究センター (ELSI センター) 准教授 /URA

京都大学大学院農学研究科修了。博士(農学)。大学院生の時に「科学コミュニケーション」というキーワードに出会い、科学技術に関わる多様な対話の場の企画・運営に関わってきた。2020年4月に発足した大阪大学 ELSI センターには立ち上げ時から関わっている。



鹿野 祐介, Yusuke Shikano
大阪大学 CO デザインセンター 特任助教 (常勤)

東北大学大学院文学研究科単位取得退学。博士(文学)。専門は哲学/概念工学。概念分析にもとづく哲学理論の研究に加えて、科学技術と社会をめぐる学際的協働における実践的活動や、科学技術の ELSI、RRI に関する実践研究と教育開発に取り組んでいる。



井出 和希, Kazuki Ide
大阪大学 感染症総合教育研究拠点 (CIDER) 特任准教授 (常勤)

静岡県立大学大学院 薬食生命科学総合学府修了。博士(薬科学)、薬剤師。京都大学 学際融合教育研究推進センター(政策のための科学ユニット)、iPS 細胞研究所 上層倫理研究部門を経て、2021年4月より現職。文科省 NISTEP 客員研究官(兼務)。ものごとに対して人が抱く価値(観)、研究者(者)とは如何なるものかに関心がある。



白井 哲哉, Tetsuya Shirai
京都大学 学術研究展開センター (KURA) URA

岡山大学大学院自然科学研究科修了 博士(理学)。京都大学生命科学研究科 特任助手、京都大学人文科学研究所 特任助教を経て、2012年より現職。2017年よりプロボストオフィスを兼任。専門は、生命科学・生命倫理・科学コミュニケーション・科学技術社会論(STS)。

研究者と伴走するための ELSI/RRI とその取組

日 時： 2024年2月16日(金) 13:00-17:30

場 所： 京都大学 吉田キャンパス 学術研究支援棟 地下1階会議室

<https://www.kura.kyoto-u.ac.jp/access/>

参加費： オンサイト 会員 5,000 円 / 人、非会員 10,000 円 / 人

オンライン 会員 2,500 円 / 人、非会員 7,500 円 / 人

内 容： 第一部 ELSI/RRI とは、ELSI/RRI への URA としての対応方法(講演)

第二部 ラウンドテーブル(講師陣への相談/意見交換)

※オンライン参加の場合、第一部までの参加となります。

定 員： オンサイト 40 名、オンライン 無制限

※先着順、定員オーバーの場合メ割前に参加申し込みを打ち切ることがあります。

主 催： RA 協議会スキルプログラム専門委員会

協 力： 大阪大学社会技術共創研究センター・京都大学学術研究展開センター

※セミナー後、別会場にて情報交換会を予定しております(18:00-20:00、別途要申込み、別料金)。

Google マップ



〒606-8501

京都市左京区吉田本町 学術研究支援棟



【開催概要】

日々新しい技術が世に生み出される一方、その技術が社会に浸透していく時、倫理的・法的・社会的課題(ELSI: Ethical, Legal and Social Issues)に直面することがあります。「第6期科学技術・イノベーション基本計画」においても、「研究開発の初期段階からの ELSI 対応を促進する必要がある」と言及され、ファンドによっては ELSI への取組が必須とされるものもあります。

一方、研究者にとっては、ELSI 対応を求められたり、責任ある研究・イノベーション(Responsible Research and Innovation: RRI)という考え方への転換が求められたりしても、何から始めたら良いのかわからず困惑することも少なくありません。同時に支援を求められる URA 側も ELSI/RRI に熟練した人材は少なく、何をどうサポートすればよいかと迷う場面が見受けられます。

そこで、本セミナーでは、ELSI/RRI に詳しくない URA や研究者を対象に、第一部では、ELSI/RRI とその取組に関して、その背景や意義などを確認しつつ、具体的な活動のあり方を紹介し、第二部(ラウンドテーブル)では、参加者から事前に集めたケースをもとに、具体的な解決策・取組について、講師を交えて議論を行います。

【参加申し込み方法】

RA 協議会 イベントサイトよりお申し込みください。

→ <https://rman.smartcore.jp/> 申し込み締め切り：2024年1月23日(火)